

令和7年度介護のしごと魅力発信等事業(情報発信事業)

- 介護職発信事業 -

企画提案書



事業実施主体について



「全ての人が希望を語れる社会」をビジョンに掲げ、介護・福祉事業者に特化した採用・育成・定着支援「KAIGO HR」や介護に想いあ
る人のコミュニティ「KAIGO LEADERS」等を運営しています。

会社名	株式会社Blanket
所在地	東京都文京区本郷3-30-10 本郷K&Kビル5・6階
設立日	2013年4月22日
代表者	秋本 可愛 (あきもと かあい)
従業員数	10名
事業内容	介護・福祉事業者向け採用・定着支援事業 人材育成のための教育・研修事業 コミュニティ運営事業 企画・プロデュース事業
受賞歴	第10回若者力大賞、第11回口ハスデザイン大賞 2016ヒト部門準大賞、Asia Pacific Eldercare Innovation Awards 2021「INNOVATION OF THE YEAR - CAREGIVER MODEL 部門にて最優秀賞、「ナゾと き介護探偵団」が第18回キッズデザイン賞



介護の採用・育成・定着支援事業



介護領域のコミュニティ運営



事業実施主体について -2-

イベント企画・運営、PRキャンペーンや広報ツール制作などさまざまな手法を通じて、多様な世代に応じた介護・福祉の魅力発信に取り組んでいます。

【これまでの取り組みの一部紹介】

●東京都



東京都の11月の福祉人材集中PR月間のキャンペーンの企画・実行を担当しています。

SNSキャンペーンの実施や、福祉職インタビュー、福祉のキャリアパスの紹介サイトなどを制作しています。

●福島県



福島県にて小学生向けの介護の仕事体験イベント「ナゾときカイゴ探偵団」を実施しています。

楽しいイベントをきっかけに、「介護職がどんな仕事をしているか」「何を大切にしているのか」を知ってもらえる機会になるよう企画内容を工夫しています。

●経済産業省



経済産業省のOPEN CARE PROJECTの立ち上げから関わっています。閉じてしまいがちな介護の話題をオープンにして、みんなで話す・考える機会づくりのために様々な取り組みをしています。

(参考)KAIGO LEADERSについて



KAIGO LEADERSは「すべての人に、カイゴリーダーシップを」をビジョンに掲げ活動する、介護に関心を持つ1人ひとりの力でより良い社会を目指すコミュニティです。全国の思いある人が集い、共に学び、つながる場を数多く実施してきました。これまで参加者は述べ8000名を超え、様々なプロジェクトが生まれています。

本事業に活かせる強み

1. 介護職・講師とのつながり
2. 一步踏み出すプログラム運営
3. イベント実施ノウハウ



活動開始から12年、全国の想いを持った介護職とつながってきました。また業界内外、本質的な学びを届けてくれる魅力的な講師とのつながりもできました。



講義を一方的に聞くだけではなく、参加者同士が交流し新たな繋がりが生まれたり、行動を起こしたくなる場を作ることにこだわり様々な共同プロジェクトが生まれています。



対面とオンラインのハイブリッドイベントも数多く開催してまいりました。オンラインのみしか参加できない受講生も関係構築につながるようフォローしていきます。

事業内容について

事業内容

KAIGO LEADERS. SCHOOL

- 伝える力が、介護の未来を創る -

SNS講座

ライティング講座

場づくり講座

介護のしごとの魅力を伝える手段はさまざま。

本講座では、誰にとっても身近な「SNS」や、発信手段として汎用性の高い「書く」こと、
そして地域の人に届ける手段として「場づくり」の実践など、
プログラム終了後も活かせる介護職・介護事業者に
身近な発信スキルの3つの講座を開講。

スクール全体スケジュール



募集説明会の開催 @オンライン

8~9月

スクールの受講生募集のための集客がメインの目的ですが、発信することの重要性の理解や自身の仕事への誇りを持つ機会、発信してみたいという意欲醸成を意識した企画を実施します。



全体キックオフ講座 東京開催(オンラインハイブリッド)

SNS講座

ライティング講座

場づくり講座

成果物をweb掲載等を実施



スクールの特徴

1

インプットのみならずアウトプットありきのプログラム設計

プログラムの期間中に、すべての講義で「課題」を設定します。受講生にはプログラム参加中にどんどん実践を積んでいただき、受講中に実践・成長できる環境をつくります。

2

チューターによるフィードバックの機会

各講義ごとに、プロのライター、動画編集者やコミュニティデザイナーを配置し、受講生のサポートを行います。①のお題をプロに直接フィードバック・ブラッシュアップしてもらう機会をつくり、より魅力が伝わるアウトプットへ磨いていきます。

3

連携等によるアウトプット機会の創出

最終成果報告会では講師やゲスト、外部機関との連携により優れた作品・実践を評価する機会を作ります。本機会により、より多くの人に情報を届けていきます。

受講生について

本スクールの対象者は、介護職個人参加ならびに介護事業運営法人参加の両方を対象とします。参加方法は、①実践コース（リアルタイム受講と課題への取り組み）と②アーカイブコース（好きなタイミングでアーカイブ動画視聴）の2枠を用意。②はスクール開講後でも申し込みできるようにします。

講座受講生	アーカイブ視聴者	合計
150名	350名	500名

アーカイブ視聴者に対してもアンケート実施や、アクションの促しなどのフォロー連絡を行い、年間で累計500名の受講生に対しアプローチ。介護の仕事への発信に意欲的かつ実践するプレイヤーを増やします。

「高齢介護職」だけでなく「障害福祉や児童福祉の従事者」も対象です。

企画委員会

本事業がより多くの人に介護のしごとの魅力を届けられる事業となる様、多様な専門的な立場からご意見をいただける方を企画委員としてお力添えいたします。

■ 委員



はたつみ

介護士インフルエンサー

■ 委員候補選定理由

業界団体や事業者からの発信に限らず、SNSで介護職に本事業の情報を届けるための助言や、本プログラムに関して日常的に積極的にSNSを活用をする中でのアドバイスをいただきます。



高野 龍昭

東洋大学
福祉社会デザイン学部 教授

日頃学生と関わっている中で、学生の価値観や学生に届けるためには？という観点や、高野先生ご自身が、介護のことをわかりやすく世間に届ける実践をさまざまなメディアで発信していらっしゃるお立場からご助言いただきます。



水口 恵齊

経済産業省
ヘルスケア産業課 課長補佐

介護人材不足(介護サービスが受けられない状況)は家族介護者の負担が増すことから介護分野だけが取り組むべきテーマではないと考えており、経済産業省が手掛ける「OPEN CARE PROJECT」との連携など、自治体連携等の可能性に関する視点で助言をいただきます。



小林大地

株式会社GO
クリエイティブディレクター

ユニクロのチアリーマンズを起用したCMや#VOICEPAY、ペイブレードやSKE48のプロモーションまで、世間の人の心を動かす企画を手掛ける立場から、本企画を多くの人の心に届く企画にするためのご助言をいただきます。

スクール内容について

キックオフ講座(東京会場で開催予定)

キックオフ講座は全プログラムの受講生が対象です。受講生の意欲向上・ネットワーキングも大切にしたプログラムを展開します。キックオフ講座は、対面会場、オンライン会場のハイブリッドで実施します。

特別ゲスト

「心を掴むストーリー」を紡ぐためのヒント



岸田奈美 作家

1991年生まれ。兵庫県神戸市出身。大学在学中に株式会社ミライロの創業メンバーとして加入。広報部長を務める。2019年、noteの記事が反響を呼び注目を集める。翌2020年、会社を退職し作家として独立。同年6月、世界経済フォーラム（ダボス会議）が任命するグローバルシェイパーズに選出される。同年10月、Forbes誌の「30 UNDER 30 JAPAN 2020」に、2021年4月「30 UNDER 30 ASIA 2021」に選出。同年7月、日本文藝家協会編『ベスト・エッセイ2021』に「海を隔てバズった母」が選出される。2020年に刊行された初の著書『家族だから愛したんじゃなくて、愛したのが家族だった』はドラマ化され今年5月14日放送開始。著書はほかに『もうあかんわ日記』『傘のさし方がわからない』。いまもっとも注目を集める作家の一人。

ワークショップ 「あなたの届けたい介護の仕事の魅力を言語化しよう！」

1人ひとりの介護の仕事についたきっかけや、この仕事にやりがいを感じたエピソードを紐解きながら、自分自身が届けていきたい介護の仕事の魅力を言語化していきます。また参加者同士の多様な思いに触れることで、仕事の魅力や価値を再認識し、届けていく意欲の醸成へとつなげていきます。

▼当日のタイムライン

13:00～	開会挨拶・事業説明・スクール運営メンバーの紹介
13:20～	特別ゲスト講演 「心を掴むストーリー」を紡ぐためのヒント 作家 岸田奈美
14:20～	グループワーク(感想・気づきの共有)・質疑応答
14:40～	休憩
14:55～	ワークショップ「あなたの届けたい介護の仕事の魅力を言語化しよう！」
16:30～	スクールについての説明・クロージング・写真撮影・アンケート等

講座① SNS・動画編集講座

SNS・動画編集講座では、情報発信におけるSNSの基礎的な活用方法・トレンドを学んだ上で、それぞれが届けたいターゲットを考え、具体的な届け方について学んでいきます。近年SNSを活用する介護事業者が増えており、一部の事業者では人材確保の成果につながっています。本講座ではSNSの中でも昨今リーチが伸びやすいショート動画の作成に力を入れたプログラムを開催します。

プログラム内容

	テーマ	学習内容
第1回	SNS活用の基礎	SNSの種類と特性・トレンドについて／ターゲット設定／個人と団体のアカウント戦略
第2回	伝わる投稿づくり	ショート動画の作り方(企画・編集方法)
第3回	ゲスト講師	関心を持たれづらいテーマに興味・関心を持ってもらうための企画・SNS活用！ 講師：トム(廣瀬智之) RICE MEDIA 代表
第4回	自分らしく発信を続けるコツ	ファンづくりのための運用方法／継続のためのネタの探し方

※プログラムは、変更になる可能性があります。

課題・アウトプット

課題：「介護の仕事の魅力が伝わるショート動画の作成」

本講座では第2回の授業後～第3回の間にショート動画を作成してもらいます。

課題はチューターからのフィードバックを受け、ブラッシュアップし最終アウトプットとして各自SNSへ投稿してもらいます。

講座① SNS・動画編集講座

テーマに精通した講師を招き、講座を実施します。

プログラム講師



川崎 笑美 KEY Design Office

1983年生まれ。福岡県在住。大手企業や広告代理店で、新規事業立ち上げ、営業、ディレクション業を20年担当。2021年独立。個人・法人のマーケティングや事業設計、コンサルティングや販促用デザイン制作に携わる。セミナー集客用LPからの総売上3,500万円の実績あり。現在はコミュニティ運営やスマートビジネスの集客やプランディング、事業設計などを講座、セミナーや勉強会を通して伝えている。

1人ひとりの想いや強みを武器にした発信ができる実践サポート！

ゲスト講師



トム(廣瀬 智之) RICE MEDIA 代表

1995年滋賀県生まれ。学生時代報道写真家を志し、取材活動に取り組む。情報過多な現代において、社会的な発信が届きづらくなっている現状に課題意識を持ち、Tomoshi Bito株式会社を創業。社会課題を企画やキャッチコピーなどの力で分かりやすく、時に面白く届ける動画メディア「RICEメディア」を展開している。SNSフォロワー数は約45万人（2023年12月時点）。社会課題解決に取り組むZ世代・ミレニアル世代を表彰する「BEYOND MILLENNIALS 2024」に選出。第7回日経ソーシャルビジネスコンテストにて大賞を受賞。

関心を持たれづらいテーマに興味・関心を持ってもらうための企画・SNS活用！

※ゲスト・プログラム講師は、変更になる可能性があります。

講座② ライティング・編集講座

ライティング・編集講座では、情報発信の基礎スキルの「書く」ことに焦点を当てた講座を開催します。noteなどのブログで個人で発信する人や自社サイトのブログ機能や地域の人向けの会報誌など「文」で介護の魅力を伝える機会はたくさんあります。**届けたい思いがある人が、伝わる文章、心に届く文章を書くスキルを学んでいきます。**

プログラム内容

	テーマ	学習内容
第1回	「伝わる文章」の基本	書き方の型／読み手を意識する／伝わる文章の書き方
第2回	ストーリーで伝える技術	エピソードの聴き方／エピソードライティング／感情を動かす文章のコツ
第3回	タイトル・見出しを磨く力	思わず読みたくなるタイトル・リード文・小見出しの作り方
第4回	発信を続けるコツ	伝えたい相手に届く表現にブラッシュアップ／見てもらうためのひと工夫

課題・アウトプット

※プログラムは、変更になる可能性があります。

課題：「介護の仕事の魅力が伝わる記事の作成」

本講座では第2回の授業後～第3回の間にブログ記事を1本作成してもらいます。自身の経験から作成するだけでなく、受講者間や所属事業所でのインタビュー記事など、それぞれが届けたいものをベースに作成してもらいます。課題はチューターからのフィードバックを受け、ブラッシュアップし最終アウトプットとして各自SNSへ投稿してもらいます。

講座② ライティング・編集講座

テーマに精通した講師を招き、講座を実施します。

プログラム設計サポート



垣花 つや子 こここ 編集部メンバー

学生時代演劇を専攻。大学院に進学し「認知症介護と演劇的な手法」をテーマに研究を模索、挫折。その後、いくつかの企業でウェブの編集を経験、フリーランスに。アートプロジェクトの記録や高齢介護領域の情報発信サポートなどを務める。2021年4月より福祉をたずねるウェブマガジン「こここ」編集部のメンバーとして企画・編集を担う。名前は大切な人からいただいたペンネーム。

ゲスト講師



中田一絵 こここ 編集長

1984年東京都生まれ、千葉県在住。武蔵野美術大学芸術文化学科卒業後、IT関連出版社、株式会社ロフトワーク、公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京で勤務。2018年に独立し、個人事務所「きてん企画室」を設立。多様な組織での経験を活かし、文化・デザイン・地域・福祉に関わるコミュニケーション活動に伴走。企画力と編集力を活かしたプロジェクトを手掛ける。“福祉の現場”との出会いは、文化財団勤務中の2015年頃。糸余曲折を経て、2020年後半からマガジンハウスによる新ウェブメディアの創刊準備に奔走し、2021年4月「福祉をたずねるクリエイティブマガジン〈こここ〉」を創刊。以来、個人事業も続けつつ、こここ編集長としてメディア運営からイベント企画、プロジェクト進行まで多岐にわたる業務を担う。2024年春より社会福祉士を目指して勉強中。

※ゲスト・プログラム講師は、変更になる可能性があります。

講座③ 人があつまる場のつくり方講座

介護職/介護事業所)の魅力発信の手段として、SNSや動画などの空中線の情報発信だけでなく、地域の中でn=1のファンや関係性をそれぞれの介護職人材および介護福祉に関わっている人がつくっていくことを通して、少ないながらも強烈な関係性を育んでいくことまた具体的な関わりや関係人口を創出することで中長期的な人材確保へつなげていくことを目的とする。

プログラム内容

第1回 地域に開いた場づくりってなんだろう？ 地域社会と介護福祉を接続する取り組みについて

なぜ地域を開く？なぜ地域とつながる？社会的な意義はもちろん、施設や事業としての役割や効果、働く人にとっての価値など、さまざまな視点からその理由を探ってみます。ゲスト講師をお招きし、介護と社会（地域）をつなげる実践事例のお話を伺います。

課題：施設や地域、個人（職員等）の資源はなにがある？あるだけまとめてくる。その活かし方についても妄想してくる。

第2回 地域に開くってどうやるの？ すでに今あるものを活かした編集的場づくりについて

地域に開く、地域とつながると言っても、どうやってやっていいのかわからない、そんなマンパワーもリソースもないよという声が聞こえてきそうです。第2回では、地域にあるもの、施設にあるもの、働いているそれぞれのスタッフの中にあるものを活用して、場や機会をつくっている事例について共有します。あるものを活かして場づくりをすることで、普段活かされていなかったものがイキイキと輝き出すはず。

課題：自分たちの法人でできること／個人でチャレンジしてみたいことについて、簡単な企画提案書を作成

第3回 仲間をつくるってどういうこと？ 共感を得るためにの発信とコミュニケーションについて

場づくりをする際は、一方向的な関係性ではなく、双方向的に信頼できる関係性・安心できる関係性をつくることが重要です。今回の取り組みにおいては、施設の職員だけではなく、特に地域の生活者や実践をしているプレイヤーといかにつながり、力を借りるのかについて実践していく必要があります。共感者集めと仲間づくりについて学びましょう。

課題：地域のプレイヤーや生活者を交えた会議もしくは法人内部でワークショップや会議の進行を行いレポート。

講座③ 人があつまる場のつくり方講座

プログラム内容

第4回 みんなでつくるってどういうこと？合意形成と円滑な打ち合わせの進め方について

活動を進めていく際は、協力者やスタッフ、地域の方々のアイデアや意見を大切にしながら進めていけると、より大きな効果を生み出せます。また、介護の魅力における地道な情報発信も可能になります。加えて、そのプロセスそのものが地域包括ケアシステムのあり方をつくるプロセスともなります。そのためには、多様な住民や関係者との「気持ちよい」打ち合わせやミーティング運営が重要です。どのタイミングでも必要になるファシリテーションについて学ぶ回です。

課題：第5回でプレゼンする内容の資料を作成して、期日までに提出

第5回 今後の取り組み発表と各自の困りごとや現時点の悩み相談会！

※プログラム内容は採択後詳細詰めを行い、各講義ごとにタイムテーブルを作成します。

アウトプットイメージ

介護職に関わっている人材が自らの施設や持っているリソースを活かして、地域との接点をつくったり、地域の人と協働・共創してイベントをつくるなど、地域と施設、介護職人材と地域の住民が関わり、浸透していく中でじんわりと魅力が伝わっていくような取り組みを増やしていきたいと考えています。



スペースの有効活用
デイサービスで地域の人
向けのヨガ講座を開催



赤ちゃんボランティア
地域の子育て世代が気軽に訪れる
きっかけをつくる



地域の人向けのお祭り
特養の駐車場を活用して
地域の人人が集まるお祭り



福祉を学ぶ教室
地域の人の福祉力が高まる講座
を施設で開催

講座③ 人があつまる場のつくり方講座

テーマに精通した講師を招き、講座を実施します。

プログラム講師



藤本 遼 株式会社ここにある 代表取締役 / 場を編む人

1990年4月生まれ。兵庫県尼崎市出身在住。「すべての人が楽しみながら、わたしとしての人生をまとうできる社会」を目指し、さまざまなプロジェクトや活動を進める。「いかしあう生態系の編み直し」がキーワード。現在は、多様な主体や個人が関わり合いながら進める地域イベントのプロデュース、共創的な場づくりやローカルデザインに関するコンサルティングやプロジェクトマネジメントなどを行う。最近では行政のみならず、企業と連携しながら進めるプロジェクトも多い。代表的なものに「ミーツ・ザ・福祉」「カリー寺」「おつかいチャレンジ」「グッド！ネイバー！ミーティング！」「武庫之のうえん」などがある。『場づくりという冒険 いかしあうつながりを編み直す』著。たべっ子どうぶつとカレーが好き。

ゲスト講師



馬場 拓也 社会福祉法人愛川舜寿会 理事長

1976年神奈川県生まれ。大学卒業後、外資系アパレル企業を経て、2010年に2代目経営者として現法人に参画。特養の庭を地域開放した「ミノワ座ガーデン」、市民の語り場「あいかわ暮らすラボ」を運営。2019年に障がいのあるなしによらず共に育ち合うインクルーシブ保育園「カミヤト凸凹保育園plus」を開園。2022年には地域共生文化拠点「春日台センターセンター」、洗濯デリバリーサービス「洗濯文化研究所」を開設し、「2023日本建築学会賞（作品）」、「グッドデザイン金賞」を受賞。著書「介護業界の人材獲得戦略（幻冬舎）」共著「わたしの身体はままならない（河出書房新社）」「壁を壊すケア（岩波書店）」など。日本社会事業大学大学院福祉マネジメント修士課程修了。

※ゲスト・プログラム講師は、変更になる可能性があります。

チューター（調整中）

各講座ごとに、受講生のサポートを行うチューターを配置します。チューターは、各テーマを仕事として実践を積むプロフェッショナル人材に協力いただき、主に課題のブラッシュアップのための助言を行ないます。また必要に応じて授業以外のメンタリングなどのフォローも行い、受講生のアクションをサポートします。

SNS講座	川崎 笑美 KEY Design Office 代表	松本 佳奈 Honmono協会 SNSコンサルタント	佐々木 緋音 Honmono協会 SNSコンサルタント	※チューターは変更になる可能性があります
ライティング講座	田邊 なつほ 株式会社声音 ライター	谷部 文香 ライター	林 春花 ライター	
場づくり講座	藤本 遼 株式会社ここにある 代表取締役	本間 彩寧 株式会社ここにある 作業療法士	杉浦 希望 株式会社ここにある	大森 亮平 株式会社ここにある NPO法人ソーシャル デザインワークス
				伴 琴絵 Blanket PM・プランナー

成果報告会について

プログラムの最後は、成果報告会を実施し、より多くの人に受講生の成果物を届けるための企画や、介護の仕事に触れてもらうきっかけをつくります。成果報告会では、受講生のみならず、介護に従事していない人や受講生以外の介護・福祉従事者の参加を目的として開催します。

主なコンテンツは以下を想定しています。

アワード(表彰式)の開催



受講生の課題の中でも優れた記事、動画や地域での実践を表彰します。アワード実施についてメディアに取材いただくことを想定しています。

ゲストを招いたトークショーの開催



「介護の仕事の魅力発信」をテーマに、スペシャルゲストを迎えたトークショーを開催します。

成果物の紹介

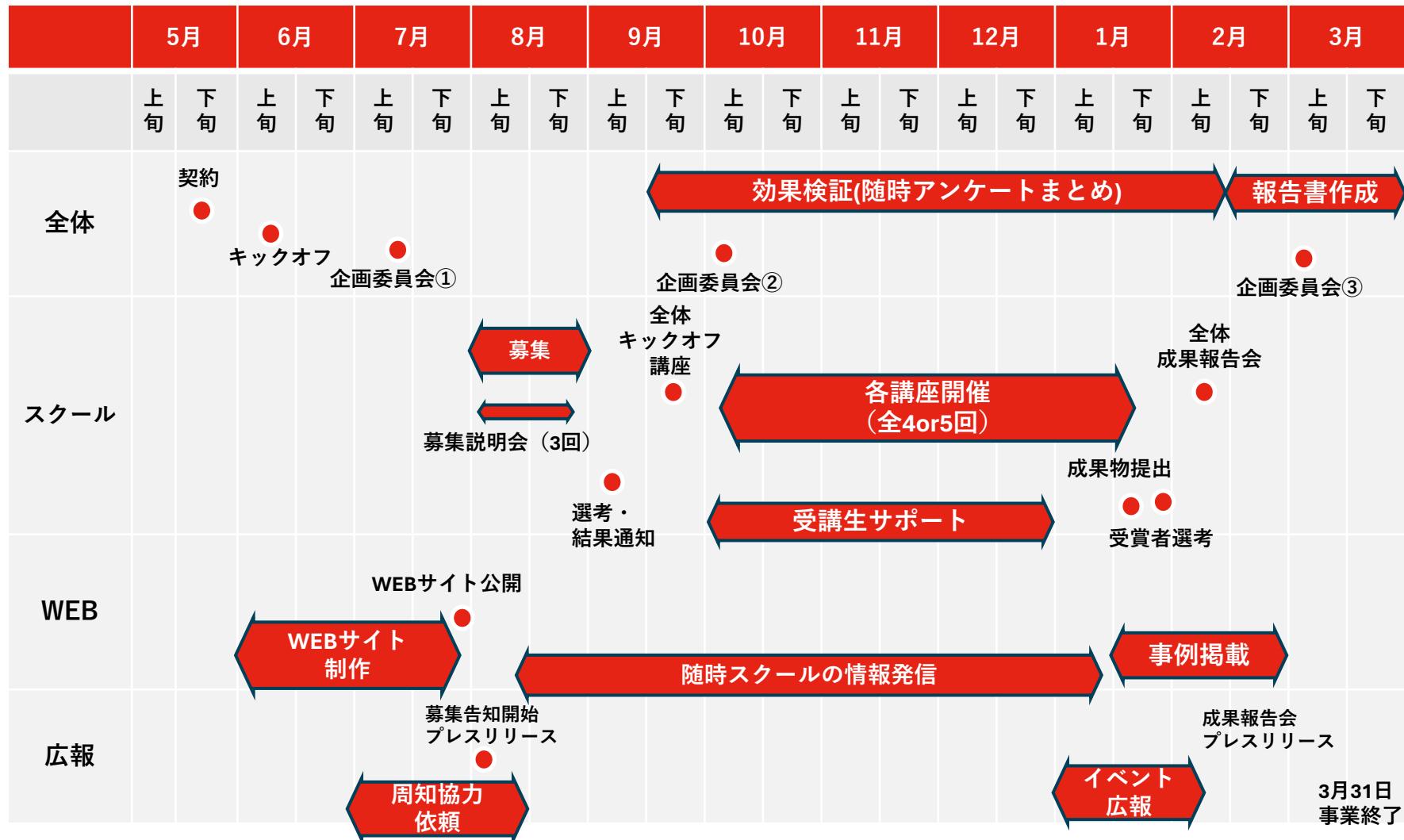


各講座で受講生が取り組んだ成果物を会場内で紹介します。

スクールについての補足事項

開催方法	<ul style="list-style-type: none">・ キックオフ講座はハイブリッド開催・ 各講義は全国から参加しやすいよう原則オンラインにて開催・ 各講義のアーカイブ動画を残し、受講生はいつでも視聴可能
講座について	<ul style="list-style-type: none">・ 1回2時間・平日の日中に実施を予定
参加条件について	<ul style="list-style-type: none">・ 法人としての参加、個人としての参加のどちらも可能・ 法人としての参加の場合、法人のSNSの活用/ブログ更新ができることが条件・ 全プログラムのうち原則すべての回に参加できること。やむを得ず不参加となる場合は、アーカイブ動画での講義視聴を必須とする。2回以上不参加となる場合は、参加を認めない・ 無料で参加できる・ 同じ法人で複数人の参加も可・ 1人で複数のプログラムの同時参加は不可(課題などコミットいただく必要があるため)
定員について	<ul style="list-style-type: none">・ 各講義 50名・ 応募者多数の場合は、エントリー情報の内容から採択者を選ぶものとする。・ 定員を超える応募があった場合、チューターの追加配置などできるだけ希望者を受け入れられるよう調整に努める。・ 応募者多数で選定となった場合は、エリアに偏りや事業種別の偏りなどを考慮し、幅広い属性の人が参加できるように考慮したいと考える・ 応募者選定にあたっては、事業主の皆さんと相談の上確定する
その他	<ul style="list-style-type: none">・ 対面実施の際にコロナウイルス・インフルエンザ等の蔓延等、参加者にとって参加のリスクが大きいと判断される場合は、オンラインでの対応や会場の感染対策に十分に配慮する

事業スケジュール



※本スケジュール以外にも事業間連携会議に参画など、柔軟に対応します。